

## Market Flash

Merry Christmas !



2023.12



日本アルプス電子株式会社  
NIHON ALPS ELECTRONICS CO.,LTD.



## 今年の漢字に「税」

一年を通して増「税」議論が活発に行われたというのが理由だ。

- ◆ 防衛力強化に必要な財源を 賄まかなうため、法人「税」、所得「税」、たばこ「税」の3つの「税」目での増「税」に関する議論が行われた。賛否両論がある中、増「税」されるのではないかと多くの国民が不安に感じた。
- ◆ 所得「税」・住民「税」の『4万円の定額減「税」』が話題に
- ◆ インボイス制度やふるさと納「税」など、多岐に渡る「税」にまつわる話題が取り沙汰された

岸田首相には「増税メガネ」というあだ名もつけられた。たしかに、防衛費増や給付金のバラマキなどにより将来確実に増税されるという懸念が広がったのは間違いないが、岸田首相自体が増税を何か決めたかといわれると何も決めていない。インボイスなどもすでに決まっていたこと。増税メガネというのもややかわいそうな感はある。

過去に「税」がトップ20にランクインしたのは4回あるそうだが、そのいずれもが消費税増税に関するものであった。実際に増税が行われていない年に「税」が選ばれたのはやや不思議であるが、今年は、増税ではなくインフレの1年でもあった。3万品目以上の商品が値上げされ国民の負担が増えたが、その感覚もあって選ばれたのではないだろうか。

実際、今年の漢字のベスト10を見ると、「税」のほか「高」「増」「変」など、インフレを想像させる漢字が選ばれている。

あとは、阪神の38年ぶり優勝やWBC優勝など野球を連想するものも多かった。

1位「税」(ゼイ/セイ/みつぎ)	5,976票(4.04%)
2位「暑」(ショ/あつい)	5,571票(3.77%)
3位「戦」(セン/いくさ/たたかう/おののく/そよぐ)	5,011票(3.39%)
4位「虎」(コ/とら)	4,674票(3.16%)
5位「勝」(ショウ/かつ/まさる/すぐれる/たえる)	4,653票(3.15%)
6位「球」(キウ/たま)	3,485票(2.36%)
7位「高」(コウ/たかい/たか/たかまる/たかめる)	3,468票(2.35%)
8位「変」(ヘン/かわる/かえる)	2,955票(2.00%)
9位「増」(ゾウ/ソウ/ます/ふえる/ふやす)	2,711票(1.83%)
10位「楽」(ガク/ラク/ゴウ/ギョウ/たのしい/たのしむ/かなでる/このむ)	2,472票(1.67%)

### <流行語大賞>

**アレ(A.R.E.) 岡田 彰布 さん(阪神タイガース監督)**

プロ野球の阪神タイガースが日本シリーズを制し1985年以来38年ぶり2度目の日本一となった。秘訣は「アレ」だ。今年のタイガースはチームスローガンを「A.R.E.(えーあーるいー)」とし、「アレ=優勝」への強い決意を表明した。そして日本シリーズでの優勝インタビュー、岡田彰布監督は「何とか達成できたので。アレのアレを」と話し敵地京セラドーム大阪も沸きに沸いた。

## 2023年新語・流行語大賞

TOP 10 年間大賞 <b>アレ(A.R.E.)</b>		
新しい学校のリーダーズ 首振りダンス	OS018 アーバンベア	蛙化現象
生成AI	地球沸騰化	ペッパーミルパフォーマンス
観る将	闇バイト	4年ぶり 声出し応援



## ■ 新しい学校のリーダーズ/首振りダンス 新しい学校のリーダーズ さん

「個性や自由ではみ出していく。」のモットーのとおり、いろいろはみ出している。ダンス&ボーカルユニットのひとつではおさまらない。自らが行うパワフルな振り付けでは、コミカルな動きもあり、激しく訴えかけてくる歌声は女性ロックバンド。表現力豊かなパフォーマンスで人気をさらった。

## ■ O S O 18/アーバンベア 日本クマネットワーク代表 酪農学園大学 教授 佐藤 喜和 さん

日ごろクマとは縁のない地域にも「OSO (オソ) 18」の恐怖は知れ渡った。牛を襲うという行動の特殊性、人間に姿を見せない、罾は見抜いてかからない。名づけられたコードネームは「OSO18」。最初に被害が出たのが北海道標茶町(しべちゃちょう)のオソツベツであったこと、前足の幅が18センチだったことからそうよばれた。

## ■ 蛙化現象 瀬間 琴美 さんと 板倉 香音 さん (学生)

好意を持っている相手のことがふとしたきっかけで嫌になってしまう「急に冷めちゃう」現象は、ままあることだ。今年若者はこの現象を「蛙化」という言葉で表し共感し合った。「好きな人から告白された瞬間に、なんか違うと思ってしまう」「ペットボトルの飲み方が嫌」「店員さんをよんでも気づかれない」など、日常よくある光景がきっかけとなることもありなかなか厳しい判定だ。

## ■ 生成AI 落合 陽一 さん (メディアアーティスト)

問いかけるとすぐさま答えてくれる、物語だって、レポートだって、イラストだって、デザインだって作ってくれる。こんな魔法の生成AI「ChatGPT」に飛びついたユーザーは、世界で1億人を超えた。地球に「スター・ウォーズ」の知性を持つロボットC-3PO、R2-D2型ドロイドと一緒に働く時代がきて、これっていつからだった?と振り返ってみた時、それは間違いなく2023年からとなるのだろう。

## ■ 地球沸騰化 田烏水産株式会社 代表取締役 横山 拓也 さん

2023年夏、世界は強烈な暑さに見舞われ、ヨーロッパでは熱波で死者が出たり森林火災が相次いだ。EUの気象情報機関によると2023年7月、世界の平均気温は観測史上最高を記録したという。この事態を受け、グテーレス国連事務総長は世界気象機関の報告書発表に際し「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」と強い危機感を表した。

## ■ ペッパーミル・パフォーマンス キッチンワールドTDI さん

WBCで大谷翔平と並んで人気者になったのがヌートバー選手だ。浅い打球に飛び込んでキャッチしたガッツあふれるプレーは、一気に侍ジャパンファンの心をつかんだ。そんなヌートバー選手の人気に火をつけたのがペッパーミル・パフォーマンスだ。

## ■ 観る将 公益社団法人 日本将棋連盟 さん

2023年10月、藤井聡太八冠が誕生した。数々の記録をめぐりかえてきたことで、将棋というニッチな世界ながら藤井ファンは幅広い。藤井現象の柱といえるのが「観る将」の存在だ。これまで将棋とは縁のなかった人々が玄人向けの場であった大盤解説会に足を運んだり、対局中継サイトを熱心に見入ったり。

## ■ 闇バイト 受賞者なし

白昼堂々犯行におよぶ凶悪な強盗事件が全国で相次いだ。日常生活を送る住宅街や営業中の店舗に複数人で侵入し、暴力をふるい金品を奪っていく脈絡のない雑な手口は、シンプルがゆえにかえって国民を強い不安におとしいれた。

## ■ 4年ぶり/声出し応援 公益財団法人 日本バスケットボール協会 AKATSUKI JAPAN さん

2023年春、試合会場に声を出しての応援が戻ってきた。大相撲、プロ野球、Jリーグなどで、大きな声で、肩を組み飛び跳ねて応援するファンの躍動で4年ぶりに熱いスポーツが息を吹き返した。男子バスケットボール日本代表「アカツキジャパン」が来年開催のパリオリンピックに48年ぶりの自力出場を決めたのは、沖縄会場での声出し応援が力になったこともあるだろう。



今年は、世界各地で異常気象となった。その1年を振り返ってみた。

WMO世界気象機関は11月30日(木)に2023年の世界の気候に関する暫定版の報告書を発表した。10月までの地球の平均気温は産業革命以前を1.40℃上回り、過去最も暖かい一年であることはほぼ確実としている。

### 地球の平均気温は過去最高

WMOの報告書によると、2023年10月までの地球表面の平均気温は産業革命以前の1850~1900年の基準に比べ1.40℃（誤差±0.12℃）高くなっている。

現在、発生しているエルニーニョ現象は、ピークを過ぎた後に地球の気温上昇に影響を与えることが多いことから、**2024年の暑さを加速させる可能性がある**とも述べている。

二酸化炭素の濃度は産業革命以前に比べて50%上昇して、大気中に熱を閉じ込めており、二酸化炭素の寿命が長いことは、今後も気温が上昇し続けることを意味するとしている。

### 海の温度も記録的に高く海面上昇が進む

海の温度も高くなっていて、2023年7~9月に関しては、これまでの記録を大幅に更新する高さであった。

海の温度の上昇や氷河、氷床の融解を反映して海面上昇が顕著となり、1993年以降の衛星観測の記録としては過去最高となっている。**最近10年間の上昇率は、観測が始まった1993年からの10年間に比べると2倍以上で、海面上昇が加速している**ことを示していると考えられる。

2023年は世界各地で熱波が注目された。中でも南ヨーロッパから北アフリカの熱波が目立ち、**イタリアで48.2℃、モロッコで50.4℃**など記録的な高温が報告された。

日本では40℃以上の観測こそ2回に留まったものの、真夏日や猛暑日の最多記録を更新する地点があるなど、夏の気温は歴代記録を大幅に更新する暑さであった。

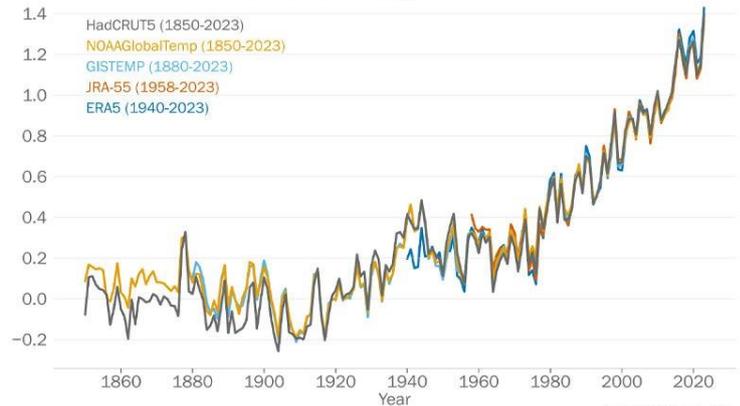
また、**大規模な山火事も目立ち、カナダでは過去10年間平均の6倍以上の面積が焼失**し、深刻な煙汚染を引き起こしました。ハワイの山火事では多数の方が亡くなっている。

日本は台風の影響が少ない1年だった一方で、2月にオーストラリア近海で発生した熱帯低気圧Freddy(フレディ)は最も長寿の熱帯低気圧としてマダガスカルやモザンビークを襲った。

9月には「メディケーン」と呼ばれる低気圧Daniel(ダニエル)がギリシャやリビアなどの地中海沿岸各国に被害をもたらした。

### 世界の年平均気温の偏差(℃)

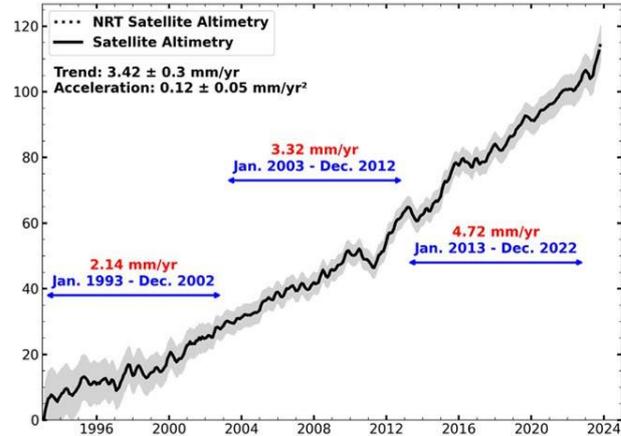
1850~1900年の平均との比較



WMO報告書より  
ウェザーニュース一部加工

### 世界の平均海面水位(mm)

(1993年を基準とした水位)



WMO報告書より  
ウェザーニュース一部加工



## <豪雨と干ばつ>

ブラジルでは地域によって豪雨と干ばつという対照的な現象が起こった。

アマゾン川流域の干ばつは過去最悪で、アマゾン ネグロ川は完全に干上がって、アマゾンの玄関口であるマナウスでは船が就航できない状況となった。

一方で、イグアスの滝では、ブラジル南部の豪雨の影響で水量が例年の16倍にもなった。

10月メキシコでは、ハリケーン・オーティスが史上最大規模のハリケーンに発達して上陸。一夜にして海岸沿いの化を匂が全滅状態となった。このハリケーンはどの気象予想よりも早く24時間以内に急速に発達した。

9月のニューヨークでも記録的な豪雨に見舞われ、地下鉄に大量の雨が流れ込むなど大都市を麻痺させ、一時、非常事態宣言が出されたほどであった。

ヨーロッパにおいても、豪雨と干ばつがすぐ隣り合わせの国で起こっていた。

イタリアでは7月24日に48.2℃を記録、スペインでも8月10日に46.8℃を記録し、オリーブなどの栽培に大被害をもたらした。

イタリアの隣国スロベニアでは豪雨により国土の2/3が水につかってしまった。

地中海に面するアフリカのリビアを襲ったハリケーンにより、死者4300人、行方不明者8000人超という大惨事となった。

リビアの気象当局によると、東部の都市では数時間で200mm前後の雨が降り、北東部の都市アル・バイダでは24時間雨量が史上最高の414.1mmを観測。

もともと普段からの雨量が少ない地域であるため、この雨量は年間降水量の2倍近くにもなる、極めて記録的な雨量であった。

この記録的な大雨の影響で老朽化した2つのダムが決壊して、沿岸部の都市デルナを多量の水が襲い、多数の死者・行方不明者が出てしまった。

写真：AFP=時事



## <干ばつがもたらす山火事>

7月イタリアのシチリア島では、東京ドーム210個分の森林を焼き尽くす。ギリシャのロードス島でも島の15%が焼失してしまった。

カナダでは7000件もの山火事が発生。6月にはその煙がニューヨークまで達し、ニューヨークの空を赤く録してしまった。カナダでは、日本の国土の半分にあたる1850万ヘクタールが燃えてしまった。

8月にはハワイマウイ島で大規模火災が発生、同時発生していたハリケーンの強風にあおられ一夜にして海岸沿いの町の2200棟の家が全焼してしまった。



## <干ばつと豪雨の原因 偏西風の蛇行>

偏西風とは何か？

偏西風は、地球の中緯度帯で主に西から東に向かって吹く強い風の一つ。この風は、熱帯地域の暖かい空気と極地の冷たい空気との温度差によって生じる。

偏西風の蛇行は、いくつかの要因によって引き起こされる。主な要因は以下の通り。

気候変動：気候変動による極地の温暖化は、赤道と極地の温度差を減少させる。この温度差は偏西風の発生に重要な役割を果たすため、その変化は偏西風のパターンに影響を与える。

海洋現象：エルニーニョやラニーニャのような海洋の温度変化は大気の循環パターンを変化させ、偏西風に影響を与えることがある。

今年の場合、ペルー沖の海水温が高くなるエルニーニョ現象が高すぎたため、乾燥した空気の流れを強め一定の地域での干ばつを引き起こした。

### 豪雨と干ばつのメカニズム

偏西風が蛇行すると、特定の地域で気候の極端な変化が起こり得る。

豪雨：偏西風が南に蛇行すると、暖かく湿った空気が中緯度の地域へと流れ込む。この暖かい空気が上昇し、冷却されることで大量の水蒸気が凝結し、強い降雨を引き起こす。さらに、蛇行によってこれらの気象パターンが長期間維持されると、一定地域に集中的な豪雨が降り続けることになる。

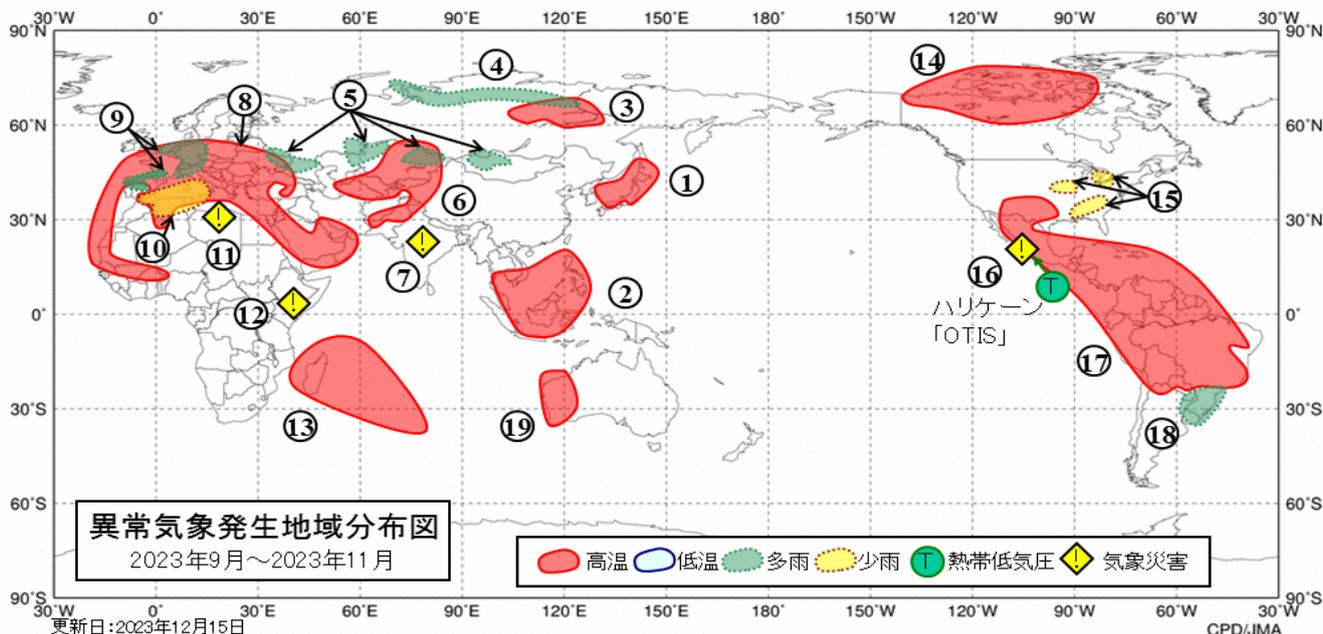
干ばつ：一方、偏西風が北に蛇行すると、冷たい乾燥した空気が中緯度地域に流れ込む。これにより、通常よりも低い降水量と高い気温が生じ、長期的な干ばつの原因となる。

偏西風の蛇行は、地域によって異なる影響を及ぼす。たとえば、ある地域では豪雨と洪水が起こり、別の地域では干ばつと高温が発生する。





## <2023年9月～11月の異常気象>



異常気象の種類	地域(時期)	概況
1 高温	北日本～西日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>•北海道の札幌: 3か月平均気温13.8℃(平年差+1.8℃)。</li> <li>•東京都の東京: 3か月平均気温20.0℃(平年差+2.1℃)。</li> <li>•日本の秋(9～11月)の3か月平均気温は、秋としては1898年以降で最も高かった(気象庁)。</li> </ul>
2 高温	東南アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>•シンガポールのシンガポール: 3か月平均気温28.5℃(平年差+0.8℃)。</li> <li>•インドネシアのジャカルタ/スカルノハッタ国際空港: 3か月平均気温28.6℃(平年差+0.8℃)。</li> </ul>
3 高温	東シベリア西部～中央シベリア中部	<ul style="list-style-type: none"> <li>•東シベリア西部のジガンスク: 3か月平均気温-8.3℃(平年差+2.8℃)。</li> </ul>
4 多雨	東シベリア西部～西シベリア北部	<ul style="list-style-type: none"> <li>•中央シベリア東部のオレニョク: 3か月降水量138mm(平年比175%)。</li> </ul>
5 多雨	モンゴル西部～ロシア南西部	<ul style="list-style-type: none"> <li>•モンゴル西部のアルタイ: 3か月降水量76mm(平年比286%)。</li> <li>•西シベリア南西部のウファ: 3か月降水量225mm(平年比153%)。</li> </ul>
6 高温	中央アジア東部～南アジア北西部	<ul style="list-style-type: none"> <li>•カザフスタンのアスタナ: 3か月平均気温7.7℃(平年差+3.4℃)。</li> </ul>
7 大雨	インド	<ul style="list-style-type: none"> <li>•インドでは、9～10月の大雨により合計で200人以上が死亡したと伝えられた(インド政府)。</li> <li>•インド中部のインドール: 3か月降水量568mm(平年比255%)。</li> </ul>
8 高温	アラビア半島～西アフリカ中部	<ul style="list-style-type: none"> <li>•サウジアラビアのリヤド国際空港: 3か月平均気温28.9℃(平年差+2.0℃)。</li> <li>•ウクライナのキーウ: 3か月平均気温11.4℃(平年差+2.7℃)。</li> <li>•ギリシャのアテネ: 3か月平均気温22.1℃(平年差+2.0℃)。</li> </ul>
9 多雨	ヨーロッパ中部、南西部	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ドイツ北部のハノーファー: 3か月降水量302mm(平年比188%)。</li> <li>•スペインのマドリド・ヘタフェ: 3か月降水量344mm(平年比283%)。</li> </ul>
10 少雨	ヨーロッパ南部～北アフリカ北西部	<ul style="list-style-type: none"> <li>•チュニジアのチュニス/カルタゴ: 3か月降水量37mm(平年比23%)。</li> </ul>
11 大雨	リビア	<ul style="list-style-type: none"> <li>•リビアでは、9月の低気圧「Daniel」による大雨の影響で12,350人以上が死亡したと伝えられた(EM-DAT)。</li> </ul>
12 大雨	ソマリア～ケニア	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ソマリア～ケニアでは、10～11月の大雨により270人以上が死亡したと伝えられた(EM-DAT)。</li> </ul>
13 高温	インド洋南西部	<ul style="list-style-type: none"> <li>•モーリシャスのロドリゲス島: 3か月平均気温25.0℃(平年差+1.5℃)。</li> </ul>
14 高温	カナダ北部	<ul style="list-style-type: none"> <li>•カナダのヌナバット準州ベーカーレーク: 3か月平均気温-3.1℃(平年差+3.8℃)。</li> </ul>
15 少雨	米国中西部～南東部	<ul style="list-style-type: none"> <li>•米国のミシシッピ州ジャクソン: 3か月降水量82mm(平年比28%)。</li> </ul>
16 ハリケーン	メキシコ	<ul style="list-style-type: none"> <li>•メキシコでは、10月のハリケーン「OTIS」により100人以上が死亡したと伝えられた(EM-DAT)。</li> </ul>
17 高温	米国南部～南米中部	<ul style="list-style-type: none"> <li>•メキシコのメキシコシティ: 3か月平均気温18.1℃(平年差+1.6℃)。</li> <li>•コロンビアのボゴタ: 3か月平均気温14.4℃(平年差+0.9℃)。</li> <li>•ペルーのリマ・カヤオ: 3か月平均気温19.5℃(平年差+1.8℃)。</li> <li>•ブラジル南東部のアラスアイでは、11月19日に44.8℃の日最高気温を観測し、ブラジルの国内最高記録を更新した(ブラジル国立気象研究所)。</li> </ul>
18 多雨	南米南東部	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ブラジル南東部のサンパウロ: 3か月降水量617mm(平年比186%)。</li> </ul>
19 高温	オーストラリア西部	<ul style="list-style-type: none"> <li>•オーストラリア南西部のパース: 3か月平均気温20.2℃(平年差+3.0℃)。</li> </ul>



この1年、このレポートを読んで頂き誠にありがとうございました。

締めくくりとして、恒例の今年の話題をまとめてみました。

今年は新型コロナウイルスも5類に分類され、ようやくコロナ前の正常な生活が戻ってきました。各種スポーツイベントでは声出し応援が可能になり、男子バスケットオリンピック予選では海上中の声援と熱気でパリオリンピックの出場権を獲得しました。また、夏の甲子園もコロナ前のスタンドでの声援が戻ってきました。円安の影響も加わり多くの外国人が日本に訪れインバウンド需要も戻りつつあります。

一方で、ウクライナVSロシアに加えて、イスラエルVSパレスチナという新たな悲惨な争いが始まってしまいました。また、半導体を中心とする米中の溝はますます深くなり、経済安全保障を重視した自国主義的活動がますます増えてきました。

そのような混沌とした人間社会への怒りを表すかのように自然界の脅威が世界に襲い掛かってきた1年でした。

来年はまずは平和な世界が戻りますように、そして、災害のない1年となりますように！

## 【スポーツ】

- 2月国枝さんが引退会見
- 3月WBCサムライジャパンが優勝
- 7月井上尚弥、世界4階級制覇
- 7月なでしこ、サッカーW杯 決勝Tへ
- 8月慶応、夏の甲子園優勝
- 8月北口、世界陸上やり投げで金
- 9月バスケット男子、パリ五輪出場決定
- 10月ラグビーW杯 南ア4度目の優勝
- 11月阪神38年ぶり日本一
- 12月大谷翔平、ロジャースと10年1015億円で契約

## 【海外】

- 2月トルコ・シリアでM7.8の地震
- 2月バイデン大統領がウクライナ訪問
- 4月フィンランドがNATO加盟
- 5月英国、70年ぶり戴冠式
- 8月ハワイマウイ島で山火事
- 9月モロッコM6.8の地震
- 10月ハマスが対イスラエル大規模作戦
- 10月イスラエルがガザ空爆

## 【国内】

- 2月シャンシャン、中国に返還
- 3月尹韓国大統領が初来日
- 3月岸田首相、キーウ訪問
- 5月岸田首相、初訪韓
- 5月新型コロナ、インフル同等扱い 5類移行
- 5月G7広島サミット
- 6月藤井、最年少名人
- 8月日大アメフト部員大麻所持で逮捕
- 9月ビックモーター本社などを捜査
- 10月藤井、初の八冠制覇
- 12月旧安倍派裏金疑惑

## 【訃報】

- 松本零士 ・ 豊田章一郎 ・ 大江健三郎
- 扇千景 ・ 畑正憲 ・ 坂本龍一
- 上岡龍太郎 ・ 森村誠一 ・ 大橋純子
- 伊集院静 ・ 池田大作

本年も大変お世話になり誠にありがとうございました。  
来年も引き続きお引き立てのほど宜しくお願い申し上げます。

来年も皆様にとって健康で明るい年になりますよう心より  
お祈り申し上げます。

